

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科 俳優コース											
舞台実習Ⅲ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	105	単位	3
担当教員	磯村純、千田恵子、須藤黄英			実務経験	有	職種	演出家				
担当教員紹介											
劇団青年座 所属 東洋大学文学部国文学科 卒業 演出／青年座「シェアの法則」、音楽朗読劇「冷蔵庫のうえの人生」他。プロデュース公演の演出助手も多数。											
授業概要											
この授業で、演技メソッドを用いての基本的な発声方法、演技をするための基礎的な体の使い方、役作りに対するアプローチなど声優・俳優になる為の具体的な技術を身に付けていく為の授業を行う。戯曲読解から役を立ち上げていく過程、実践的な発表と講評などを通じて声優・俳優という仕事を理解することを通じて、業界に出て職能として通用する自立した俳優・声優となることを目指す。											
到達目標											
この科目では、戯曲を分析し理解すること、基礎的な発声を身に着けること、声優・俳優として必要な身体性を獲得すること、他者と関わり一つの目標に到達できるようにコミュニケーションを取ること、演劇作品を創造する上で必要な具体的な演技方法とその実践を行うことで、声優・俳優として社会に出た時に必要な考え方、技術を習得することを目指している。											
授業方法											
ウォーミングアップとしてシアターゲームなどを行ってから、戯曲を使用して読み合わせ、立ち稽古、発表を段階を経ながら行う											
成績評価方法											
成果発表 課題 平常点	50% 30% 20%	中間発表などの舞台成果、授業内で行われる実技発表の内容について評価する 授業内で行われる課題発表の成果について評価する。 積極的な授業参加度、授業態度などで評価する。									
履修上の注意											
この授業では声優・俳優に必要な心構えとして集合時間、開始時間など時間を守ることを徹底する。チームを組んで創作、発表をする機会も増える為学生間のコミュニケーションを重視する。自立した声優・俳優を目指すために授業に出席するだけでなく、積極的な参加、発表を求める。課題として出た戯曲やテキストは授業の前に目を通しておく。ただし、授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することが出来ない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	ワークショップ										
第2回	基本的な発声、身体訓練（訓練は以後、継続的に行う）										
第3回	エチュード										
第4回	エチュード										
第5回	エチュード										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科 俳優コース	
舞台実習Ⅲ	
第6回	エチュード
第7回	エチュード
第8回	中間発表作品学習
第9回	読み合わせ
第10回	読み合わせ
第11回	読み合わせ
第12回	立ち稽古
第13回	立ち稽古
第14回	立ち稽古
第15回	立ち稽古
第16回	立ち稽古
第17回	立ち稽古
第18回	通し
第19回	舞台稽古
第20回	中間発表と反省会